



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社 中広

上場取引所 東名

コード番号 2139 URL <https://www.chuco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 斉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 倉橋 誠一郎

TEL 058-247-2511

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,792	13.0	8		12		33	
2022年3月期第2四半期	3,356	12.2	60		46		55	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 35百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 85百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	4.95	
2022年3月期第2四半期	8.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,676	1,747	36.4
2022年3月期	3,979	1,772	44.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,700百万円 2022年3月期 1,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	23.2	180	119.6	150	24.3	70	30.9	10.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,044,000 株	2022年3月期	7,044,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	243,975 株	2022年3月期	243,975 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	6,800,025 株	2022年3月期2Q	6,800,025 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)は、新型コロナウイルス感染症拡大の第7波が到来したものの、感染防止と経済活動の両立を目指し行動制限が控えられたことから、個人消費を中心に持ち直しの動きが続きました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の激化や急激な円安の進行、エネルギー価格や原材料価格の高騰による物価上昇などにより、コロナ禍の鎮静化による経済回復期待が大きく削がれる状況となりました。

当社グループは、今期(第45期)経営テーマ「DX化時代を駆け抜ける!」のもと、『「紙のポスティング」と「ウェブ」の共創』を目指した取組み、具体的には、自社媒体ハッピーメディア®「地域みっちゃく生活情報誌®」(以下、地域フリーマガジン)での二次元コード活用と広告効果の向上、紙媒体とクーポンアプリ「フリモ」や「まちJOB」及び「フリモール」などとの連携強化、「日本地域メディアネットワーク/JLMN」(<https://adnavi.info>)や地域商店街応援施策などウェブ活用を含む広告SP提案、経営効率化のためのDX商材提供など、地域経済の活性化に資する営業施策を推進しました。また、2022年6月30日に株式会社Success Holders(旧株式会社ぱど)のメディア事業承継子会社(現株式会社中広メディアソリューションズ。以下、CMS)の株式を取得し、同社を当社の完全子会社としました。さらに2022年7月1日には株式会社ケイ・クリエイトの増資を引き受け、同社と同社の子会社である株式会社ケイピースを連結子会社とすることで、地域フリーマガジンを主とする自社媒体「ハッピーメディア®」の発行・配布エリアの拡大を図りました。地域フリーマガジンの発行状況(VC加盟※を含む)は31都道府県142誌(前年同期は29道府県133誌)、月間発行部数1,164万部(同1,009万部)となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上は3,792,797千円(前年同期比13.0%の増加)、売上総利益は1,719,024千円(前年同期比20.7%の増加)となりました。利益面では、当社単体の営業利益が上半期としては4期ぶりの利益計上(約15百万円)となったものの、連結利益としては、営業損失が8,410千円(前年同期は60,974千円の営業損失)と、前年同期から約52百万円の改善に止まりました。経常損失は12,090千円(前年同期は46,568千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は33,664千円(前年同期は55,483千円の同純損失)となりました。

※ VC契約とは

Voluntary Chain(ボランティア・チェーン)契約。お互いの自由度を認めながら各戸配布型の無料情報誌をハッピーメディア®「地域みっちゃく生活情報誌®」ブランドで発行します。この契約により、当社はVC加盟契約先企業より、商標使用料及びシステム使用料を得ております。VC契約を推進する目的は、当社のフリーマガジンの考え方(地域みっちゃく・厳格な掲載基準・正確な配布部数)に賛同する企業とともにフリーマガジン事業を全国展開することで、地域経済の活性化に貢献するとともに、全国規模の広告インフラを迅速に整備することです。

メディア広告事業及びその他(EC事業)の経営成績は次のとおりであります。

① メディア広告事業

当社グループは、主として自社媒体「ハッピーメディア®」の企画・営業・編集・発行等を担当する部署と、自社媒体の広域営業や自社以外のメディア・印刷物等を用いた販売促進等を行うセールスプロモーション部署とが一体となって、地域経済の活性化や地域課題の解決に資するメディア広告事業を行っており、単一の報告セグメントとしております。

自社メディアの主力商品である地域フリーマガジンの発行エリア、月間発行部数などについては、当社グループ理念や各種取組み、広告主・読者レスポンス等と共に、「中広報」(毎月末発行)にて社内外関係者へ発送すると同時に、当社HPに掲載しております。なお、第2四半期から連結対象となったCMSによる地域フリーマガジン「ARIFT®」の月間発行部数は、宮城県(8エリア)344,240部、埼玉県(13エリア)578,640部、東京都(2エリア)106,880部、神奈川県(7エリア)355,355部の計1,385,115部であり、ケイ・クリエイトによる同「くれよん®」は、愛知県(6版)計488,350部、となっております。

メディア広告事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は総じて増加し、自社メディア広告売上2,379,205千円(前年同期比14.4%増)、セールスプロモーション等売上1,232,964千円(同18.0%増)、計3,612,170千円(同15.6%増)となり、同期間におけるセグメント利益は181,983千円(同72.7%増)となりました。

② その他(EC事業)

その他に含まれる通信販売事業(EC事業)では、水道光熱費等の高騰や円安進行による物価高など、消費マイ

ンドの悪化要因の影響を受け、主に価格帯が高額な大型家具を中心に、全体的に売上が低調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間のその他売上高は180,627千円（前年同期比22.2%減）となり、セグメント損失は5,766千円（前年同期は1,379千円のセグメント損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産は、連結子会社3社を取得したこと等により、4,676,611千円（前連結会計年度末から697,162千円の増加）となりました。これは主に関係会社株式が40,516千円減少したものの、現金及び預金が241,561千円、受取手形及び売掛金が193,783千円、流動資産のその他が55,705千円、建物及び構築物が52,736千円、投資その他の資産のその他が50,200千円及び土地が29,194千円増加したこと等によるものです。

負債は、2,928,995千円（前連結会計年度末から722,417千円の増加）となりました。これは主に未払法人税等が10,920千円減少したものの、短期借入金が281,000千円、支払手形及び買掛金が179,329千円、長期借入金が108,665千円及び流動負債のその他が62,520千円増加したこと等によるものです。

純資産は、1,747,615千円（前連結会計年度末から25,254千円の減少）となりました。これは非支配株主持分が46,701千円増加したものの、利益剰余金が68,441千円及びその他有価証券評価差額金が3,514千円減少したことによるものです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.4%です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、653,876千円（前連結会計年度末から186,283千円の増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、57,791千円（前年同期は184,232千円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少42,385千円、減価償却費21,294千円及びのれん償却額11,487千円等の増加要因があった一方、仕入債務の減少78,624千円、法人税等の支払額26,367千円、税金等調整前四半期純損失15,707千円、未払消費税等の減少10,127千円等の減少要因があったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、238,564千円（前年同期は189,470千円の収入）となりました。これは主に、定期預金の払戻により405,281千円の収入があった一方、定期預金の預入により441,434千円、関係会社株式の取得により136,000千円及び有形固定資産の取得により49,270千円を支出したためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得た資金は、281,865千円（前年同期は10,924千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済により67,162千円及び配当により33,854千円減少した一方、短期借入金が275,000千円増加したこと及び長期借入れによる110,000千円の収入があったためです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結及び個別業績予想につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,722,655	1,964,216
受取手形及び売掛金	842,014	1,035,798
棚卸資産	15,391	20,106
その他	125,622	181,328
貸倒引当金	△3,250	△6,464
流動資産合計	2,702,435	3,194,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	213,118	265,854
土地	398,950	428,145
その他(純額)	11,034	28,349
有形固定資産合計	623,103	722,349
無形固定資産		
のれん	33,487	124,510
その他	64,763	70,820
無形固定資産合計	98,250	195,331
投資その他の資産		
投資有価証券	103,926	99,224
関係会社株式	121,078	80,562
差入保証金	202,773	220,010
繰延税金資産	89,939	100,728
その他	74,518	124,718
貸倒引当金	△36,575	△61,298
投資その他の資産合計	555,660	563,945
固定資産合計	1,277,013	1,481,626
資産合計	3,979,448	4,676,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	657,997	837,326
短期借入金	560,000	841,000
1年内返済予定の長期借入金	118,805	144,724
未払法人税等	38,437	27,517
賞与引当金	78,269	82,775
その他	270,843	333,364
流動負債合計	1,724,352	2,266,707
固定負債		
長期借入金	458,669	567,334
退職給付に係る負債	10,962	20,517
資産除去債務	-	15,877
役員退職慰労引当金	-	30,679
その他	12,594	27,880
固定負債合計	482,226	662,288
負債合計	2,206,578	2,928,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,300	404,300
資本剰余金	94,800	94,800
利益剰余金	1,295,290	1,226,848
自己株式	△15,824	△15,824
株主資本合計	1,778,565	1,710,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,695	△9,209
その他の包括利益累計額合計	△5,695	△9,209
非支配株主持分	-	46,701
純資産合計	1,772,870	1,747,615
負債純資産合計	3,979,448	4,676,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,356,012	3,792,797
売上原価	1,931,321	2,073,772
売上総利益	1,424,691	1,719,024
販売費及び一般管理費	1,485,665	1,727,435
営業損失(△)	△60,974	△8,410
営業外収益		
受取利息	116	111
受取配当金	770	850
受取賃貸料	6,969	7,329
持分法による投資利益	7,790	-
その他	4,489	5,914
営業外収益合計	20,135	14,205
営業外費用		
支払利息	1,630	2,560
支払手数料	2,171	2,040
車両事故損失	1,200	841
持分法による投資損失	-	11,419
その他	727	1,023
営業外費用合計	5,730	17,886
経常損失(△)	△46,568	△12,090
特別利益		
固定資産売却益	-	2,917
投資有価証券売却益	3,814	-
特別利益合計	3,814	2,917
特別損失		
固定資産除却損	192	-
投資有価証券評価損	-	934
段階取得に係る差損	-	5,599
特別損失合計	192	6,534
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,947	△15,707
法人税、住民税及び事業税	8,523	10,479
法人税等調整額	4,012	6,158
法人税等合計	12,536	16,638
四半期純損失(△)	△55,483	△32,346
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,318
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△55,483	△33,664

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△55,483	△32,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,409	△3,514
その他の包括利益合計	△30,409	△3,514
四半期包括利益	△85,893	△35,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,893	△37,179
非支配株主に係る四半期包括利益	-	1,318

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,947	△15,707
減価償却費	20,350	21,294
のれん償却額	6,361	11,487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	283	△608
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,083	△1,374
受取利息及び受取配当金	△886	△962
支払利息	1,630	2,560
持分法による投資損益(△は益)	△7,790	11,419
固定資産売却損益(△は益)	-	△2,917
売上債権の増減額(△は増加)	137,845	42,385
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,654	965
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,054	△78,624
未払消費税等の増減額(△は減少)	△162,033	△10,127
その他	△46,848	△9,611
小計	△158,659	△29,819
利息及び配当金の受取額	897	961
利息の支払額	△1,806	△2,566
法人税等の支払額	△24,663	△26,367
営業活動によるキャッシュ・フロー	△184,232	△57,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△441,636	△441,434
定期預金の払戻による収入	716,638	405,281
有形固定資産の取得による支出	△1,306	△49,270
有形固定資産の売却による収入	-	4,223
無形固定資産の取得による支出	△28,976	△10,103
投資有価証券の売却による収入	10,229	-
関係会社株式の取得による支出	△61,090	△136,000
その他	△4,387	△11,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	189,470	△238,564
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△10,000	275,000
長期借入れによる収入	60,000	110,000
長期借入金の返済による支出	△32,828	△67,162
リース債務の返済による支出	△6,247	△2,117
配当金の支払額	-	△33,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,924	281,865
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,163	△14,490
現金及び現金同等物の期首残高	235,268	467,592
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	200,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	251,431	653,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	メディア広告事業			
売上高				
自社メディア広告	2,078,823	—	—	2,078,823
セールスプロモーション等	1,045,053	—	—	1,045,053
その他	—	232,136	—	232,136
顧客との契約から生じる収益	3,123,876	232,136	—	3,356,012
外部顧客への売上高	3,123,876	232,136	—	3,356,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,123,876	232,136	—	3,356,012
セグメント利益又は損失(△)	105,365	△1,379	△164,960	△60,974

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「EC事業」を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、管理部門にかかる一般管理費を含んでおります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	メディア広告事業			
売上高				
自社メディア広告	2,379,205	—	—	2,379,205
セールスプロモーション等	1,232,964	—	—	1,232,964
その他	—	180,627	—	180,627
顧客との契約から生じる収益	3,612,169	180,627	—	3,792,797
外部顧客への売上高	3,612,169	180,627	—	3,792,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,612,169	180,627	—	3,792,797
セグメント利益又は損失(△)	181,983	△5,766	△184,627	△8,410

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「EC事業」を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、管理部門にかかる一般管理費を含んでおります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、2022年6月30日付で、株式会社Success Holders分割会社（株式会社中広メディアソリューションズに名称変更）が発行する全株式を取得し、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めたことにより、「メディア広告事業」においてのれんが発生しております。当該事象による当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、99,000千円であります。

また、当社は、2022年7月1日付で、当社の持分法適用関連会社であった株式会社ケイ・クリエイトの株式を追加取得し、同社を連結子会社化したことにより、「メディア広告事業」においてのれんが発生しております。当該事象による当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、3,510千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。